月　日 名前　　／100点

【答え】

【中3】国語 文章問題　説明文 4

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

知らない町へ行く前に、私たちはたいてい、写真や口コミで下調べをする。行ってみると、たしかに写真と同じ景色がある。それなのに、なぜか写真で見たときとは違う印象を受けることが多い。

写真に写っているのは、その場所の一部分である。撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったものだ。そこには、写真の外側にあるもの、たとえば、道のにおいや、遠くから聞こえる音や、歩いたときの坂の重さは入っていない。私たちが写真から受け取るのは、撮った人の目を通して選ばれた情報なのである。

これは、写真だけのことではない。本や記事、人から聞いた話も、誰かが見たり考えたりしたことを、言葉にして伝えたものだ。どれほど正確に書かれていても、そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている。何を伝え、何を伝えなかったかという選択である。

もちろん、情報を通して世界を知ることは大切だ。自分の目で見られる範囲はかぎられている。遠い国のことも、昔のことも、私たちは他人の目を借りて知るしかない。問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである。

自分の目で見るとは、ただ現地に行くことではない。受け取った情報が、誰かの選択を通ったものだと意識しながら、自分でも選び直してみることだ。写真には写っていなかったものは何か。記事が書かなかったことは何か。そう問いながら見るとき、借りた目は、自分の目を育てる手がかりに変わる。

（この問題のための書き下ろし）

問一　筆者は、私たちが写真から受け取るのはどんな情報だと述べていますか。「～情報」につながるように、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

撮	った	人	の	目	を	通	して	選	ばれ	た									

問二　第二段落で、筆者が道のにおいや遠くの音、坂の重さを挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　写真の外側にあって、写真からは受け取れないものの例を示すため。
イ　写真を撮るときに気をつけるべきことを示すため。
ウ　知らない町を歩くときの危険を示すため。
エ　写真よりも、音やにおいのほうが大切だと主張するため。

ア

問三　筆者は、本や記事、人から聞いた話にも必ず入っているものは何だと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

伝	え	た	人	の	選	び	方		

問四　筆者が「問題」だと考えていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　情報を通して世界を知ろうとすること。
イ　遠い国や昔のことを知ろうとしないこと。
ウ　借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこむこと。
エ　写真や記事が、いつも正確でないこと。

ウ

問五　筆者の考える「自分の目で見る」とは、どういうことですか。六十字以内で説明しなさい。

情	報	が	誰	か	の	選	択	を	通	っ	た	も	の	だ	と	意	識	し	、
伝	え	ら	れ	な	か	っ	た	こ	と	を	問	い	な	が	ら	、	自	分	で
も	選	び	直	し	て	み	る	こ	と	。									

【中3】国語 文章問題　説明文 4　答えと解説

問一（二十点）　答え：撮った人の目を通して選ばれた

解説：第二段落の最後の一文が根拠。「撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったもの」という説明をまとめた言葉。

問二（二十点）　答え：ア

解説：「写真の外側にあるもの、たとえば～は入っていない」が根拠。「たとえば」の後は、直前の「写真の外側にあるもの」の具体例。

問三（二十点）　答え：伝えた人の選び方

解説：第三段落の「そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている」が根拠。続く「何を伝え、何を伝えなかったかという選択」は、その言いかえ。

問四（二十点）　答え：ウ

解説：第四段落の最後「問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである」が根拠。アは「大切だ」と筆者が認めていること。

問五（二十点）　答えの例：情報が誰かの選択を通ったものだと意識し、伝えられなかったことを問いながら、自分でも選び直してみること。

解説：最後の段落が根拠。「ただ現地に行くことではない」と否定したうえで述べている。写真・記事の問いかけは、「伝えられなかったこと」の具体例。

採点のポイント：①　受け取った情報は、誰かの選択を通ったものだと意識する　②

伝えられなかったこと（写らなかったもの・書かれなかったこと）を問い、自分でも選び直す（二つそろって満点、一つなら半分）